

<p>団体名</p>	<p>焼畑でそばづくり交流会</p>	<p>活動地域 代表者 メンバー数</p>	<p>福井市美山地区 代表 由田 昭治 11名</p>
<p>内容</p>	<p>焼畑でのそばづくり交流活動事業 蕎麦づくりによる地域住民との交流と美山地区蕎麦在来種の保護と継承活動の実施</p>		
<p>報告</p>	<p>【7月】グループ発足会 焼畑そばづくりの具体的進め方の協議 そばづくり用地の現地視察と作業の打合せ 焼畑用地の草刈り 【8月】焼畑用地の火入れと、そばの種まき 焼畑用地への電気柵等の設置 【9月】メンバーへの中間報告会 事業の進捗状況と今後の取組みの確認 【10月】焼畑の状況確認と除草 刈り取りと乾燥 【11月】脱穀と選別、そば引き 収穫祭(交流会)の開催</p>	<p>成果</p>	<p>◆伝統農法の貴重な体験を通して、先人の知恵や苦勞、努力を知り、食に対する感謝と関心が強まった。</p> <p>◆作業を重ねる中で、メンバー間の連帯感も強まり、みんなで力を合わせて一つのことに取組むことへの喜びを感じることができた。</p> <p>◆収穫祭を通じて地域の住民や関係団体との交流が深まるとともに食や歴史にまつわる貴重な話を聞いた。</p> <p>◆事業を進めるにあたり、会員それぞれの持つネットワークを利用するなど、会員からの活動への積極的な提案や意見が見られた。</p>
<p>今後の課題</p>	<p>◆そばの収穫を左右するものに獣害対策がある。電気柵と防獣ネットを使用することで、被害を最小限に抑えたが、今後はより有効な対策の情報収集や研究をする必要がある。</p> <p>◆収穫量が当初の予定より少なかったのは気候によるところが大きかったが、種まきの時期や方法など再度検討したい。</p>	<p>今後の活動</p>	<p>◆新たに会員を募集し、人的体制を強化するとともに、今年度の成果や課題を踏まえて、収穫量の増はもとより、活動内容の充実を図りたい。</p>
<p>活動風景</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div> <p>(上) 福井市美山町河内地区の山の斜面を利用した焼畑農業によるそば畑。防獣対策として電気柵も設置しています。</p> <p>(右上) 10月末の蕎麦の刈取りの様子です。雑草が多くて、収穫量が思ったより少なかったのが残念でした。</p> <p>(右) 焼畑用地の山の斜面に火入れを行いました。その後に美山地区在来のそばの種まき作業が待っています。</p>		